

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第33週 （8月14日～8月20日）

## ★お知らせ

### ○手足口病に気を付けて

定点医療機関当たりの報告数は第32週の1.20から第33週では1.17と横ばいです。県全域から報告があり、安芸、中央東で急減していますが、中央西で増加し、幡多で注意報値を超えており引き続き注意が必要です。

病原体検出情報では、第26週から第32に搬入された検体で高知市と須崎からCA6（Coxsackievirus A6）が4件、Echovirus 9が4件検出されています。

国内の手足口病由来ウイルスの検出状況は、2017年第1週から第30週までの合計でCA6が63.8%と最も多くなっています。

感染経路としては、飛まつ感染、接触感染、糞口感染が知られているので、以下のことに注意して感染予防しましょう。

#### <予防対策>

- 接触感染を予防するために大人も子どもも手洗いをしっかりとすること。（タオルの共有はしない）
- 排泄物を適切に処理し（塩素系漂白剤が消毒効果があります）、しっかりと手洗いすること。
- 治った後も比較的長い間（2～4週間）便中にウイルスが排泄されるため日頃からの手洗いが大切

#### <手洗いについて>

石けん液を使いよく泡立てて洗い、流水でしっかりと流します。指先や爪の間、指の間や親指の周り、手のしわ、手首までしっかりと洗うようにしましょう。

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第32週の2.43から第33週では2.83と横ばいです。県全域から報告があり、中央東、安芸で減少していますが、須崎、中央西、幡多で急増、高知市で増加しています。

定点医療機関からのホット情報ではノロウイルスが3例、細菌の病原性大腸菌やカンピロバクター属菌、サルモネラ属菌を原因とする胃腸炎11例の報告もあります。

病原体検出情報では、第33週に搬入された検体で高知市と須崎からNorovirus G II NTが5件検出されています。

感染性胃腸炎の予防には、手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には、石けんをよく手を洗い、タオルは共用せず専用のものにしましょう。感染した人の便やおう吐物には、直接触れないよう、使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処分してください。

また、細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（①つけない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱（85℃で1分以上）は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけて下さい。

### ○RSウイルス感染症に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第32週の0.87から第33週では1.03と横ばいです。幡多、安芸で急減、中央西で減少していますが、中央東で急増、高知市で増加しています。

全国では定点医療機関当たりの報告数は第26週以降増加が続いています。

この病気は軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。一方、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多く、気が付かずに感染源となる可能性があります。また、高齢者においても急性のしばしば重症の下気道炎をおこす原因となるため、特に長期療養施設内での集団発生が問題となる場合があります。

予防接種ワクチンはなく、患者の咳、くしゃみなどによる飛沫感染、感染している人との濃厚接触、ウイルスが付着した物品を触ることによる接触感染により感染するので、風邪と同様にマスクの着用（咳エチケット）と手洗いによる予防が有効です。乳幼児への感染を防ぐため、咳などの症状がある人になるべく接触させないようにし、看護する人も手洗いを十分に行ってください。

## ○百日咳に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第32週の0.00から第33週では0.03と急増しています。幡多で急増し注意報値を超えています。

病原体検出情報では第33週に搬入された検体で幡多から *Bordetella pertussis* が1件検出されています。

百日咳は、感染力が強く、軽症でも菌の排出があるため、注意が必要です。特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は特に感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

## ☆野外活動の際にはマダニに注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは野山、草地、畑、河川敷などに広く生息しています。屋外でキャンプ、ハイキングなどのレジャーや農作業をする場合には次のことに注意しましょう。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（マダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

また、このたび発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・ふん便からSFTSウイルスが検出された事例並びに、体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトがSFTSを発症し死亡した事例が確認されました。これらの事例は稀な事例ではありますが、イヌやネコの体液等からヒトが感染することも否定できないので、体調不良の動物に接触した後、発熱等の症状が出た時には医療機関を受診して下さい。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

- 高知県衛生研究所 マダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

### 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	効力持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用医薬部外品	1～2時間	<b>6ヶ月未満児には使用禁止</b>	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12%	防除用医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用医薬品	約6時間		
イカリジン	5%	防除用医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用医薬品	6～8時間		

※ 国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋

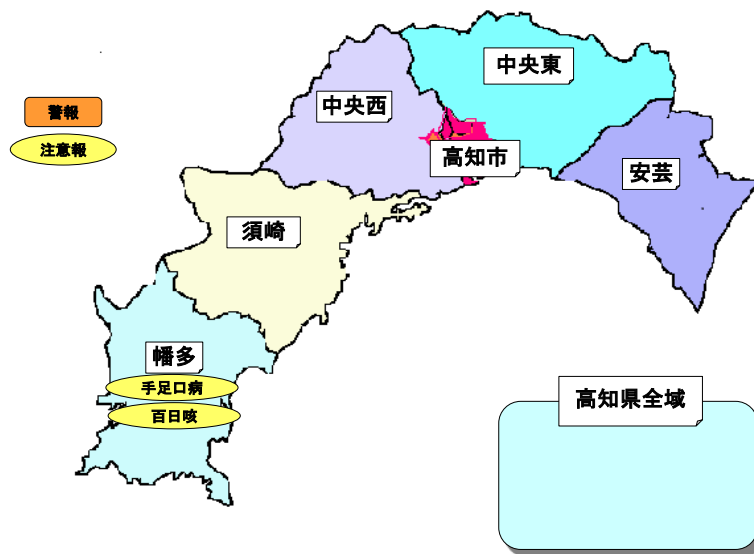
※ 市販の虫よけ剤(忌避剤)は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減  
 33週（8月14日～8月20日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	2.83	中央東、安芸で減少していますが、須崎、中央西、幡多で急増、高知市で増加しています。
手足口病	→	1.17	安芸、中央東で急減していますが、中央西で増加しています。幡多では注意報値を超えています。
RSウイルス感染症	→	1.03	幡多、安芸で急減、中央西で減少していますが、中央東で急増、高知市で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	0.83	県全域、高知市、幡多で減少しています。
ヘルパンギーナ	→	0.37	中央東で急減していますが、高知市で急増、幡多で増加しています。

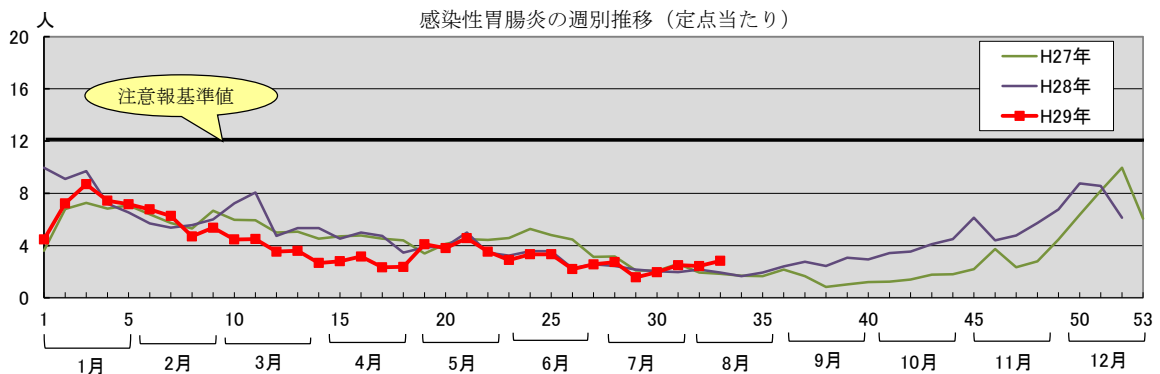
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

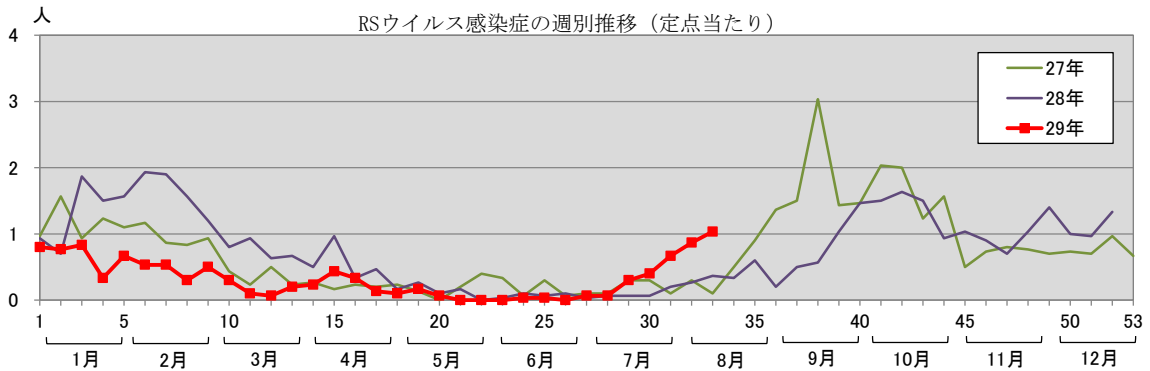
○感染性胃腸炎 第33週：2.83（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり2.83（前週：2.43）と横ばいです。中央東3.86（前週：4.86）安芸2.50（前週：4.00）で減少していますが、須崎4.50（前週：1.00）中央西0.67（前週：0.00）幡多0.60（前週：0.20）で急増、高知市3.55（前週：2.55）で増加しています。



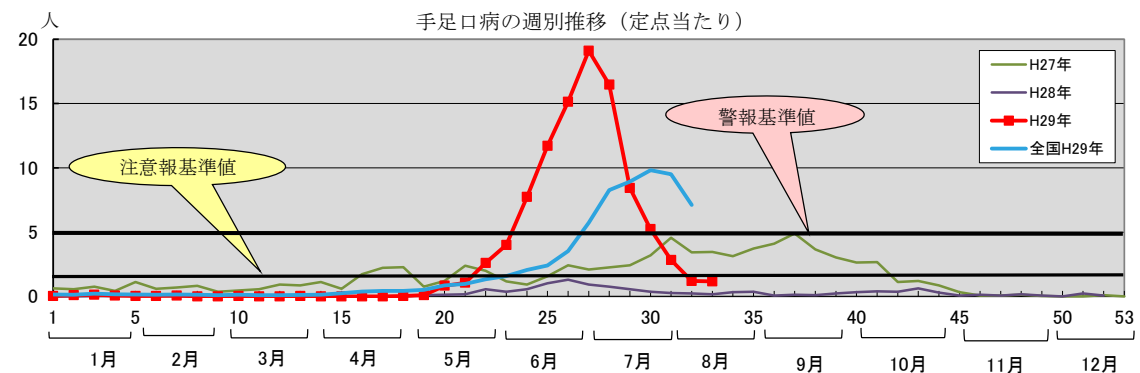
**○RSウイルス感染症 第33週：1.03（注意報値：－ 警報値：－）**

定点医療機関からの報告数は定点あたり1.03（前週：0.87）と横ばいです。幡多0.20（前週：0.40）安芸0.00（前週：1.00）で急減、中央西0.67（前週：1.00）で減少していますが、中央東0.57（前週：0.00）で急増、高知市2.18（前週：1.73）で増加しています。



**○手足口病 第33週：1.17（注意報値：2.00 警報値：5.00）**

定点医療機関からの報告数は定点あたり1.17（前週：1.20）と横ばいです。安芸0.50（前週：1.00）中央東0.43（前週：0.86）で急減していますが、中央西1.00（前週：0.67）で増加しています。幡多2.80（前週：2.80）で注意報値を超えています。



**★全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	61	70歳代 女	安芸
		1		60歳代 男	幡多
4類	レプトスピラ症	1	1	80歳代 男	幡多
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	80歳代 男	高知市

**★病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
33	インフルエンザ	39℃, 咳嗽,	4	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
33	インフルエンザ	40℃, 咳嗽,	8	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
33	インフルエンザ	40℃, 咳嗽,	3	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
33	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐, 嘔気,	1	男	高知市	Norovirus GII NT
33	感染性胃腸炎	嘔吐, 嘔気,	4	女	高知市	Norovirus GII NT
33	感染性胃腸炎	嘔吐, 嘔気,	11ヶ月	男	高知市	Norovirus GII NT
33	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐, 嘔気,	1	女	須崎	Norovirus GII NT
33	感染性胃腸炎	38℃, 下痢, 嘔吐, 嘔気,	2	男	須崎	Norovirus GII NT
33	百日咳	咳嗽, 上気道炎,	2ヶ月	女	幡多	Bordetella pertussis

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
25	—	発疹,	1	男	高知市	Echovirus 9
25	急性咽頭炎	39℃,咳嗽,	9	男	高知市	Echovirus 9
25	不明発疹症	発疹,	1	女	須崎	Echovirus 9
26	手足口病?	発疹,	2	男	須崎	Echovirus 9
27	手足口病	37℃,発疹,	8	男	須崎	Echovirus 9
27	不明発疹症	39℃,発疹,	1	男	須崎	Echovirus 9
27	手足口病	39℃,発疹,	1	男	須崎	Echovirus 9
28	無菌性髄膜炎	39℃,嘔吐,嘔気,	7	男	幡多	Echovirus 9
28	無菌性髄膜炎	39℃,嘔吐,嘔気,	9	男	幡多	Echovirus 9
30	手足口病	39℃,水疱,発疹,	1	女	高知市	Coxsackievirus A6
30	手足口病	水疱,発疹,口内炎,	8ヶ月	男	高知市	Coxsackievirus A6
30	RSウイルス感染症、二相性急性脳症	39℃,咳嗽,上気道炎,気管支炎,	1	男	中央東	Coxsackievirus B4
30	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎?	39℃,上気道炎,発疹,	2	女	須崎	Echovirus 9
30	不明発疹症	39℃,発疹,	1	男	須崎	Echovirus 9
30	不明発疹症	39℃,発疹,	1	男	須崎	Echovirus 9
31	—	39℃,	3	女	幡多	Adenovirus 4
31	無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎	39℃,腹痛,	7	男	高知市	Echovirus 9
31	—	38℃,発疹,	0ヶ月	男	中央東	Echovirus 9
31	不明発疹症	37℃,発疹,	1	男	須崎	Echovirus 9
31	不明発疹症	39℃,発疹,	1	男	須崎	Echovirus 9
31	不明発疹症	39℃,発疹,	1	男	須崎	Echovirus 9
31	伝染性日紅斑	40℃,発疹,	6	女	須崎	Echovirus 9
31	不明発疹症	37℃,発疹,	1	男	須崎	Echovirus 9
31	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	1	女	須崎	Echovirus 9
31	不明発疹症 手足口病?	38℃,発疹,	1	男	須崎	Echovirus 9
32	手足口病	39℃,発疹,	1	女	高知市	Coxsackievirus A6
32	手足口病	発疹,口内炎,	3	男	須崎	Coxsackievirus A6
32	不明発疹症	38℃,腹痛,発疹,	11	女	須崎	Echovirus 9

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	E.coli O-18+E.coli O-63 同時検出 1 例 (2 歳男) E.coli O-3 1 例 (8 歳女) E.coli O-18 2 例 (1 歳女、2 歳女) 管内保育園で感染性胃腸炎が流行中 E.coli O-18 検出多数
	高知大学医学部付属病院小児科	水痘 1 例 (7 歳男: ネフローゼ症候群の患児水痘ワクチンは 1 回済み)
	おひさまこどもクリニック	病原性大腸菌 O-63 1 例 (14 歳女) 手足口病 2 例 (2 例とも帰省中の児)
	田村こどもクリニック	ムンプス 1 例 (10~14 歳: 予防接種 1 回済み)
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 5 例 (1 歳男 2 人、2 歳男 3 人) ノロウイルス 1 例 (1 歳男) ヒトメタニューモウイルス 1 例 (1 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	アデノウイルス感染症と突発性発疹の合併 1 例 (1 歳女) 手足口病と突発性発疹の合併 1 例 (1 歳男) 溶連菌感染症 5 例 水痘 1 例 (3 歳男: 2 回ワクチン接種済み)
	けら小児科・アレルギー科	病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例 (4 歳) 病原性大腸菌 O-15+カンピロバクター腸炎 1 例 (8 歳)
	細木病院小児科	ノロ 2 例 (9 ヶ月男、1 歳男)
	高知赤十字病院内科	インフルエンザ A 型 2 例 (台湾旅行、帰国後体温上昇)
中央西	石黒小児科	帯状疱疹 1 例 (1 歳男)
須崎	もりはた小児科	カンピロバクター腸炎 1 例 (4 歳男) サルモネラ O-7 腸炎 1 例 (4 歳男) マイコプラズマ肺炎 1 例 (14 歳女)

★全国情報

第31号(7月31日～8月6日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核367例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症174例

4類感染症：E型肝炎6例、A型肝炎5例、重症熱性血小板減少症候群5例、デング熱6例

日本紅斑熱8例、マラリア1例、ライム病1例、レジオネラ症28例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症22例

急性脳炎9例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例

後天性免疫不全症候群14例、侵襲性インフルエンザ菌感染症2例、

侵襲性肺炎球菌感染症16例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒79例、

播種性クリプトコックス症2例、破傷風3例、風しん2例、麻しん1例、

薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

報告遅れ：E型肝炎2例、コクシジオイデス症1例、つつが虫病2例、デング熱1例、日本紅斑熱8例

レジオネラ症10例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症13例、急性脳炎6例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、梅毒51例

-----



高知県感染症情報(59定点医療機関)

第33週 平成29年8月14日(月)～平成29年8月20日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第33週							計	前週	全国(32週)	高知県(33週未累計) H29/1/2～H29/8/20	全国(32週未累計) H29/1/2～H29/8/13
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ*	インフルエンザ			1	3					4(0.08)	6(0.13)	795(0.17)	14,642(305.04)	1,364,472(276.15)
小児科	咽頭結核熱			1	3					4(0.08)	6(0.13)	795(0.17)	14,642(305.04)	1,364,472(276.15)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	4			1	3	9(0.30)	7(0.23)	1,541(0.52)	271(9.03)	56,316(17.84)
	感染性胃腸炎			3	15	2		1	4	25(0.83)	35(1.17)	3,151(1.05)	1,847(61.57)	242,250(76.73)
	水痘			5	27	39	2	9	3	85(2.83)	73(2.43)	8,584(2.87)	3,954(131.80)	580,101(183.75)
	手足口病			1	1	4				5(0.17)	7(0.23)	663(0.22)	415(13.83)	36,988(11.72)
	伝染性紅斑			1	3	13	3	1	14	35(1.17)	36(1.20)	21,303(7.12)	2,945(98.17)	208,230(65.96)
	突発性発疹			1						1(0.03)	2(0.07)	127(0.04)	107(3.57)	8,325(2.64)
	百日咳			2	1	4			2	9(0.30)	7(0.23)	1,105(0.37)	366(12.20)	46,787(14.82)
	ヘルパンギーナ								1	1(0.03)		40(0.01)	21(0.70)	977(0.31)
	RSウイルス感染症			1	4			1	5	11(0.37)	10(0.33)	5,073(1.70)	438(14.60)	52,839(16.74)
眼科	急性出血性結膜炎											3( )		285(0.41)
	流行性角結膜炎											488(0.75)	11(3.67)	14,622(21.10)
基幹	細菌性髄膜炎											10(0.02)	2(0.25)	314(0.66)
	無菌性髄膜炎											23(0.05)	7(0.88)	563(1.18)
	マイコプラズマ肺炎				1					1(0.13)		113(0.24)	70(8.75)	4,895(10.26)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											4(0.01)	6(0.75)	160(0.34)
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)											3(0.01)	86(10.75)	4,833(10.13)
計	(小児科定点当たり人数)	8(4.00)	44(6.22)	112(9.99)	9(3.01)	15(7.50)	31(6.20)	219(7.21)		49,116	25,682(666.98)	2,720,229		
前週	(小児科定点当たり人数)	13(6.50)	52(7.44)	95(8.58)	13(3.81)	5(2.50)	34(6.80)		212(6.99)					

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第33週							計	前週	全国(32週)	高知県(33週未累計) H29/1/2～H29/8/20	全国(32週未累計) H29/1/2～H29/8/13
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ*	インフルエンザ			0.09	0.19					0.08	0.13	0.17	305.04	276.15
小児科	咽頭結核熱			0.14	0.36				0.60	0.30	0.23	0.52	9.03	17.84
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.43	1.36	0.67	0.50	0.80	0.83	1.17	1.05	61.57	76.73	
	感染性胃腸炎			2.50	3.86	3.55	0.67	4.50	0.60	2.83	2.43	2.87	131.80	183.75
	水痘				0.14	0.36				0.17	0.23	0.22	13.83	11.72
	手足口病			0.50	0.43	1.18	1.00	0.50	2.80	1.17	1.20	7.12	98.17	65.96
	伝染性紅斑				0.14					0.03	0.07	0.04	3.57	2.64
	突発性発疹			1.00	0.14	0.36		1.00		0.30	0.23	0.37	12.20	14.82
	百日咳								0.20	0.03		0.01	0.70	0.31
	ヘルパンギーナ				0.14	0.36			1.00	0.37	0.33	1.70	14.60	16.74
	RSウイルス感染症				0.14	0.09				0.07	0.10	0.38	5.60	18.12
眼科	急性出血性結膜炎			0.57	2.18	0.67		0.20	1.03	0.87	1.66	10.87	12.69	
	流行性角結膜炎										0.75	3.67	21.10	
基幹	細菌性髄膜炎										0.02	0.25	0.66	
	無菌性髄膜炎										0.05	0.88	1.18	
	マイコプラズマ肺炎				0.20				0.13		0.24	8.75	10.26	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.01	0.75	0.34	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)										0.01	10.75	10.13	
計	(小児科定点当たり人数)	4.00	6.22	9.99	3.01	7.50	6.20	7.21			666.98			
前週	(小児科定点当たり人数)	6.50	7.44	8.58	3.81	2.50	6.80		6.99					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869